

舎町のはずれに、忽然と姿を現した。専門家の部屋はクーラーが効く。研修用の AV 機材も最新のものが揃っている。立派な食堂がある。が、何か足りない。それはプロジェクト独自ではフィールドを持っていないということであった。専門家やカウンターパートが好きな時に自由に入出りできる林地が無いということであった。もちろん、見学旅行をすれば森林を視察したり、調査もできる。これども気軽に行けるものではない。相手国は我々の安全を守る義務がある。戒厳令の敷かれている外国である。我々も周到な準備が要る。

コンクリートの地面のほかに、山官には足を林地に着ける場所が必要である。英語の不得手な人も現場に出れば元気が出る。技術移転は、既存の日本語の教科書、他プロジェクトの技術開発成果をそのまま翻訳すればすむものではない。実地検証が必要である。そう考えて、JICA のモデルインフラ事業の予算を活用して「演習林」の設定の準備を進めている。

---

## 新刊紹介

◎熱帯雨林 危機にさらされる熱帯雨林とその保全のための青写真 (ARNOLD NEWMAN: Tropical Rain Forest, A World Survey of Our Most Valuable and Endangered Habitat with a Blueprint for its Survival. Fact on File, New York・Oxford, 1990, 256 pp., 邦価約 8,600 円)

熱帯雨林とは一体何なのか? という問いかけに始まる本書は著者の 20 年にも及ぶ経験をもとに書かれたものであり、熱帯雨林の構造について、そして熱帯雨林が受けている脅威について、さらには熱帯雨林の破壊によって我々が失うものについて、ラテンアメリカを中心にたくさんのすばらしい写真とイラストでヴィジュアルに読者に教え、訴えかけている。それにとどまらず、熱帯雨林保護を単に訴えるだけでは不十分だと考える著者は、熱帯雨林と人類との共存の青写真についてあらゆる側面から述べている。最後には現実的に何かを為したい読者のために、政府機関等への投書の仕方、再生紙の使用など日常レベルでの取り組み方など、熱帯雨林保全のための幾つかの action plan を提供している。

非常にヴィジュアルで内容も多様であり、教育的にも価値あるこの書は、今後熱帯雨林を理解し、さらには熱帯雨林との共存を考える上で欠くことのできない一冊になるであろう。(和田全弘)